



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題	「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」	Samuel Chacko (インド)
アジア太平洋地域会長主題	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」	Chen Ming Chen (台湾)
東日本区理事主題	「未来に向けて今すぐ行動しよう」	佐藤重良 (甲府21)
東新部部長主題	「All 東新部、始動! Change! 2022 ラストスパート、ポスト2022 始動」	深尾香子 (東京多摩みなみ)
クラブ会長主題	「心を尽くしてYMCAのために」	小川圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年1月会報

強調テーマ

* E F & J E F *

Endowment Fund & Japan East Ys Mens Fund

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 江尻 明子

↑ 今月の聖句

ひととき、お怒りになっても、
命を得させることをみ旨としてくださる。
泣きながら夜を過ごす人にも、
よろこびの歌と共に朝を迎えさせて下さる。
His anger lasts only a moment,
his goodness for a lifetime.
Tears may flow in the night,
but joy comes in the morning.

旧約聖書 詩編 30:5

(小川 選)

とき 令和5年1月20日(金) 18:30~19:30

ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F

電話 03-3420-5361

ハイブリッド開催

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | 寺門 文雄 君 |
| 5. 子どもと平和、大江浩の大放談 | |
| | 社会福祉法人興望館常務理事・興望館こども園園長 |
| 6. ハッピーバースデイ | 1/2 江尻明子さん |
| | 1/8 小原詔子さん |
| 7. 結婚記念日 | 1/25 岩崎 弘君 |
| 8. ニコニコ献金 | |
| 9. 諸報告 | |
| 10. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

12月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者 12/16日(金)	12月のBF他献金	ニコニコファンド 12月 6,020円 年度計 35,181円
	出席率	71%	会員 11名	切手 0g	
	第2例会	(中止)	メネット 0名	現金 0円	
			イキャップ 0名	累計切手 0g	
			ゲスト 8名		
			ビジター(含むzoom) 2名		
			合計 21名		
			すずらん会(中止)	2021~2022年度	
			ゲスト 名	自主献金については今期に限り	
			スタッフ 名	クラブからの献金とする	
			合計 名		
			新型コロナウイルスの影響で		

本日のメインプログラム

卓話：子どもと平和、大江浩の大放談

学生時代のキャンプリーダー・ボランティア活動に始まり、キリスト教との出会いや現在に至るまでのキャリアを通して出会った人々や出来事・体験のエピソードを前回に続き、お話いただきます。

✪ 12月例会報告



クリスマス礼拝

経堂緑岡教会 増田琴牧師より説教

要旨

「今日、あなたに」

聖句：

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。

この方こそ主メシアである。

新約聖書 ルカによる福音書 2章10～11節

YMCA南センターで「liby・リビー」の活動が始まった、とのこと。牧師として30数年になりますが、20代の最後のころフリースクールに関わった日が思い出されます。

ある高齢者の方に言われた。高齢者に大切なことは。「きょういく、きょうよう、」が大事だと。いまさら、教育・教養かと思いましたが、実は「今日、行くところ。今日、やる用がある」とのことだと、一緒に分かち合う仲間がいること、喜びが生まれること大切だと話されました。



この中着袋、昨年、YMCA 保育園ねがいでクリスマスの折に保育士の方々の手づくりの中着袋をプレゼントされました。今年も17日に伺うのですが。クリスマスと言えば、プレゼント。クリスマス「きょう、あなたに愛が見える！」愛は見えません。形があるものではありません。クリスマスは、神がイエスを使わされた。

伊藤亜紗氏のお話から、

「触れる：ふれる」「触る：さわる」の違いを。琴線に触れる、気に触る。相手のことを気にしない、感覚の違いが。

相手の気持ちに触れる。喜びや悲しみに。

クリスマスカードは、神様の愛が届きますようにとおく。

明治、来日された宣教師が、愛をお大切にと訳した。

クリスマスはどんな時、

愛が見える形に。神様に大切に思われて。

今、世界的に厳しい時です。日本も、軍事力拡大方向に舵を切ろうとしている時。

神が大切にといってください、

今日一日一日を大切に歩いていけたらと、光が輝けるように願いながら、2022年のクリスマスを。「今日、あなたに」



参考：

伊藤亜紗氏は「触る・さわる」と「触れる・触れる」の2つの触覚を表す語を紹介。「触る」は相手の感情を考えずに一方的に接触する。「触れる」は物質的な接触だけでなく感情的な交流を含める相互的な意味を持つ。そして、ネット回線を使った会話や会議は、「触れている感じが無い」と言う。

(小原 記)

説教後：

在京ワイズ合同新年会の開催説明

小川委員長より、開催準備手順の説明を受ける。

詳細については、メールにて連絡

1月7日(土) 10:00 早稲田教会集合。

✪ 在京ワイズ合同新年会 成功裏に

コロナ禍で開催が危ぶまれていた新年会。会長会・懇親会を中止し、礼拝とウクライナ支援・チャリティーコンサートが 1月7日(土曜) 12:00~14:00

早稲田奉仕園スコットホール(日本基督教団早稲田教会)

ホスト:東京世田谷クラブ

サポート:東新部、東京YMCAliby により

開催することができた。

第1部

古賀 博 日本基督教団早稲田教会牧師の説教。

「光の子として」と題し、ノーベル文学賞作家・アレクシエーヴィチ氏の作品より、人は、内に獣を潜ませている。戦争により行われる蛮行。ウクライナの民話「てぶくろ」のお話。World in Union(ラクビー・ワールドカップ、テーマソング)の詩を紹介され、早期の争いの終結を願って説教を。

私には素敵な、大切だと思う夢がある

それは世界が団結して一つになること

みんなで集まり、思いを一つにすること

宗教や肌の色を超え一つになれば、離れることはない

最良なものを探しながら、できることをやる ……

省略、……

結びついた一つの世界に

運命をつかもうとするなら、新しい時代が始まる

菅谷淳 東京YMCA総主事、シェン・チ・ミン アジア太平洋地域会長、佐藤重良 東日本区理事

挨拶・アピールの後

第2部

ウクライナ支援チャリティーコンサート

嘉村えりかさん、ゆりえさん姉妹、カノンデュオシスターズのピアノ連弾演奏。

組曲・惑星よりジュピター、第九より喜びの歌、ダニーボーイ、映画・ひまわりのテーマ、ラ・カンパネラなど、お二人の演奏を堪能することができた。

コンサート終了後、嘉村姉妹、YMCA 総主事、東日本区理事にも募金箱をそれぞれお持ちいただき、献金を募りました。ご奉仕いただいた献金は、YMCA 及び、嘉村姉妹を通して、ウクライナ支援として用いられることに。

90名余りの参加された方々も、ウクライナへの思いをあらたに、有意義なひと時を過ごされたことでしょう。

(小原 記)



✪ YMCA 保育園ねがい

「おやこでガーデニング」を開催しました

11月19日(土) 10:00~11:30

今年度も春に向けて、保育園のために「親子のガーデニング」を開催していただきました。

「1歳児でどうなるかと思いましたが、土いじりを楽しんでいました。」:1歳児父

「途中で幼虫探しになりましたが、最後まで楽しんでました。」:2歳児父

「楽しくて、癒されました。」:4歳児母

保護者のアンケートに書かれていた言葉です。土曜日の保育の子どもたちもいっしょに大興奮で土を触り、球根や苗を花壇やプランターに植えました。

コロナ禍でほとんどの保護者、地域との活動を縮小してきました。その中で子どもたちがY'sのかたがた、親子、職員と多様な大人といっしょにガーデニングのプログラムを協働できたことに感謝いたします。

戸外活動も思うようにできない中、園を支えてくださっているサポーターのみなさまといっしょに自然に触れ合う経験は子どもの育ちにとって何物にも替えがたい経験です。球根を植え、幼虫を見つけ、春と命に思いを寄せました。暖かな冬の陽射しの中、みなさまの笑顔に見守られて子どもたちの命が輝いた一日でした。

(今井園長 記)



※ 三茶にサンタがやってきた

会計報告

募金：約 125 万円は昨年実績並みですが、3 年続いていること、イベントとして盛り上がっているのが素晴らしいと思います。

世田谷ワイズからは 11 万円の寄付を頂きました。

ご理解ご協力感謝いたします。

(三浦 記)

※ 会長通信 2212

1 月 7 日に開催の 在京ワイズ合同新年会の報告を記します。

当日は、JR 山手線の工事による部分停止もありましたが、東京 YMCA 総主事、アジア太平洋エリア会長、東日本区理事 を始めとする総勢 90 名の参加者を得て開催できました。

第一部は、東京 YMCA 評議会会長で会場の早稲田教会牧師 の古賀博先生の平和のメッセージをうかがいました。合わせて、東京 YMCA とウクライナ YMCA の交流と支援の報告を含む、来賓のご挨拶。

第二部は、ウクライナ在住のカノンデュオシスターズの ピアノ連弾による、ウクライナ支援のチャリティーコンサート。企画音楽プロデューサーとして、企画・構成・司会進行を務めさせて頂きました。舞台上の「ひまわり」はこの企画の要のシンボルで、小原さんが演奏家への激励の花束と共に取り寄せて飾って下さいました。

登録費と募金、DVD 販売による献金額は総計 250,170 円でした。

本来の親睦と交流の新年会は、祈りと献金、ウクライナと世界の 平和を希求する感動の集いとなりました。歌えなかったワイズソング、YMCA の歌は、東西交流会、台湾での 100 周年記念大会、東日本区大会で歌ってください。右手を胸に！

チラシのデザイン印刷から会場設営などなど応援してくださった 東京 YMCA Liby の皆さんに心から感謝します。

実行委員長 小川圭一 (東京世田谷クラブ会長)

※ YMCA NEWS

1. 11 月 27 日に山手センター70 周年を記念したリーダーOB・OG会が開催され、現役のリーダーも含め 125 名が集った。リーダーOB・OGによる実行委員会を中心となり運営がなされ、全体会の他、キャンプソングやクラフトを楽しむなど、再会と交流の機会となった。当日はリーダー養成募金として約 9 万円

が寄せられた。バス代等も高騰してリーダートレーニングの経費が増加している中で非常にありがたい寄付となった。

2. 11 月 25 日～27 日に「第 22 回日本 YMCA 大会」が日本 YMCA 同盟東山荘、及びオンラインで開催され、全国の YMCA から約 200 名が集い、東京 YMCA から 9 名が参加した。ユースが中心となり準備・運営がなされ、「refocus the YMCA」をテーマに、YMCA の活動報告や交流の時間が設けられた。

3. 日本 YMCA 同盟表彰として、全国 YMCA の永年継続会員や YMCA 運動に貢献のあった会員 241 名が表彰を受けた。東京 YMCA からは、青少年奉仕賞を郡山千里氏と山本和氏が受賞した他、50 年継続会員賞 2 名、25 年継続会員賞 33 名、25 年勤続者賞 1 名が表彰を受け、記念品が贈られた。

4. 12 月 14 日に「ウクライナ YMCA 支援活動報告会」がオンラインで開催され、会員、職員他 70 名が参加した。ウクライナ YMCA の Victor Serbulov 総主事他、同 YMCA の職員やボランティアから、ウクライナ YMCA の活動や、東京 YMCA の支援により実現したキャンプ、現在のウクライナ国内の状況等について報告があった。また 12 月 18 日には日本 YMCA 同盟が国内に避難しているウクライナの人々を対象に行っている支援プログラム「Ukraine Café HIMAWARI」のクリスマス会が開催され、在日ウクライナの方々など約 100 名が集い、東京 YMCA から 3 名の職員がボランティアスタッフとして参加した。

今後の予定

・1 月 28 日
「第 17 回子育て講演会」 オンライン
講師：大豆生田啓友氏 (玉川大学教育学部教授)
テーマ：「いまどきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ～」

・1 月 28 日～29 日
社会人リーダー スキートレーニング
野外やキャンプ関わるスタッフが減少している中で、社会人となったリーダーたちにスキートレーニングでインストラクターを担ってもらうためのトレーニングを六本木先生の協力を得ながら、尾瀬にて開催する